クロスバー取扱書

このたびは、レクサス純正クロスバーをお買い上げいただき、ありがとうございました。
本取扱書はパノラマルーフ非装着車、パノラマルーフ装着車となります。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も併せてお渡しください。

品　　番

パノラマルーフ 非装着車	PW301-48001
パノラマルーフ 装着車	PW301-48002

取扱上の注意事項

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。
この取扱書に記載されていない取り付けおよび使用方法は絶対に行わないでください。記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合があります。あらかじめご了承願います。

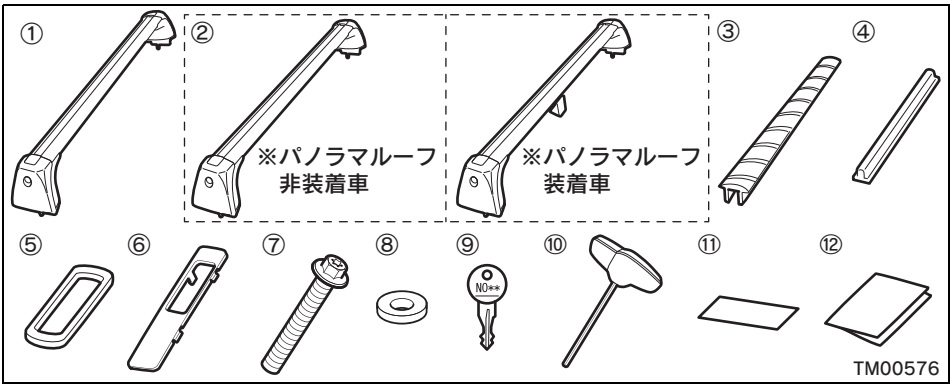
⚠ **注意・・・・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、けがをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。**

アドバイス・・・・より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

取り付けに必要な工具

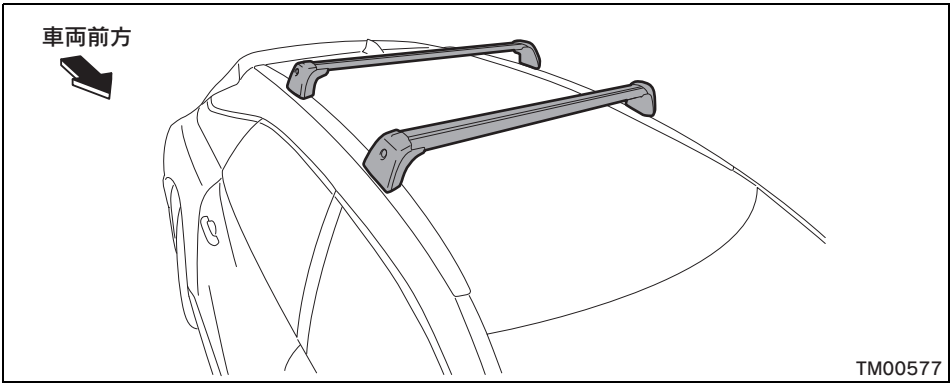
一般工具、ハサミ、脱脂剤、メジャー、脚立、マーキングペン（水性）、軍手、きれいな布、マスキングテープ

構成部品



No.	品　名	個数
①	クロスバー（フロント用）	1
②	クロスバー（リヤ用）	1
③	上部カバー（補給品番 PZ41B-X2620-01）	2
④	風切音低減プレート	3
⑤	笛吹音低減シーラー	2
⑥	ルーフサイドガーニッシュリッド	4
⑦	ボルト	4
⑧	ワッシャー	4
⑨	キー	4
⑩	トルクキー	1
⑪	注意シール	1
⑫	取扱書	1

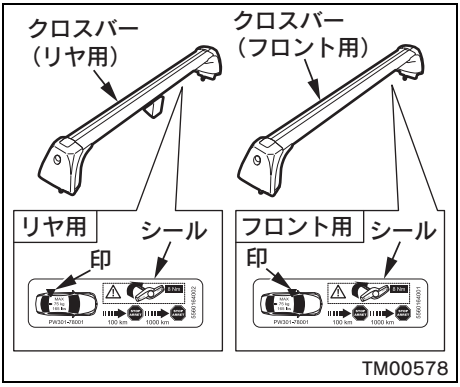
取付概要



アドバイス

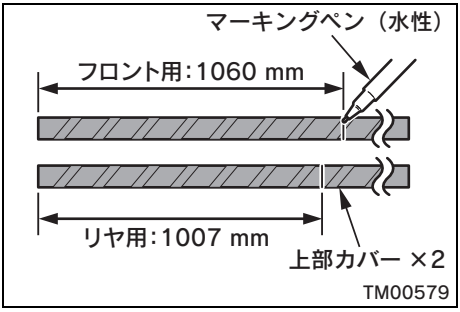
以降の作業は、パノラマルーフ装着車を示しますが、パノラマルーフ非装着車も同様に作業をしてください。

取り付け前の準備



アドバイス

クロスバー（フロント用）およびクロスバー（リヤ用）は形状が異なります。クロスバー裏側シールの印が車両フロント側に付いてるとクロスバー（フロント用）、印が車両リヤ側に付いてるとクロスバー（リヤ用）となります。

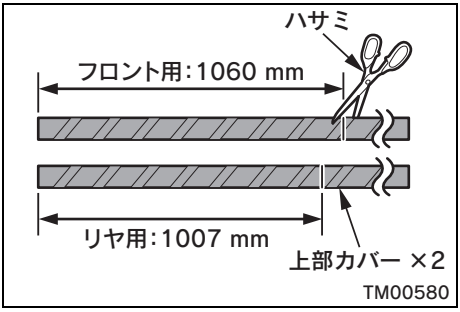


1．上部カバーの取り付け

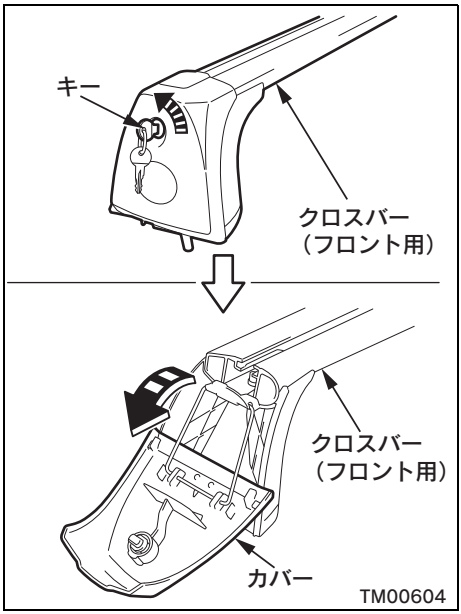
（1） 左図の位置に、マーキングペン（水性）で線を引きます。

アドバイス

左右のどちら側を基準にしても問題ありません。



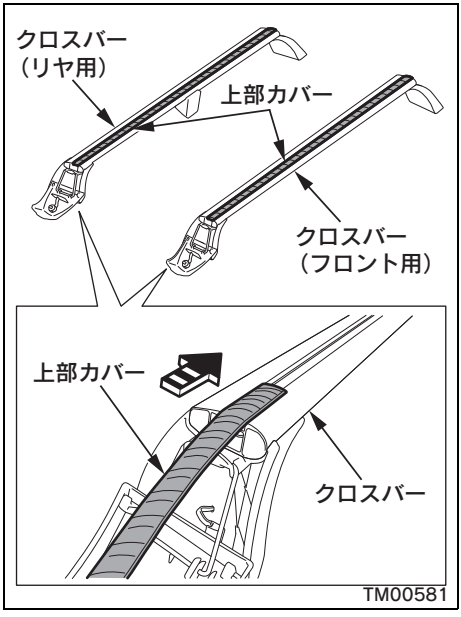
（2） 上部カバーをマーキングに合わせてカットします。



（3） キーを回してロックを解除し、カバーを開きます。

アドバイス

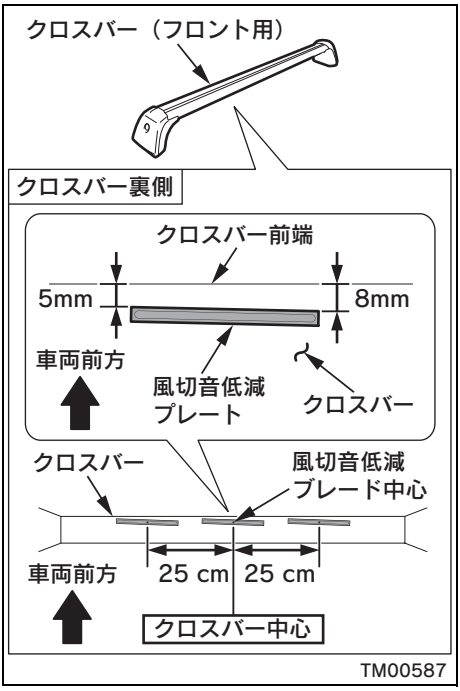
・左図はクロスバー（フロント用）を示しますが、クロスバー（リヤ用）も同様に作業をしてください。
・左右のどちら側を作業しても問題ありません。



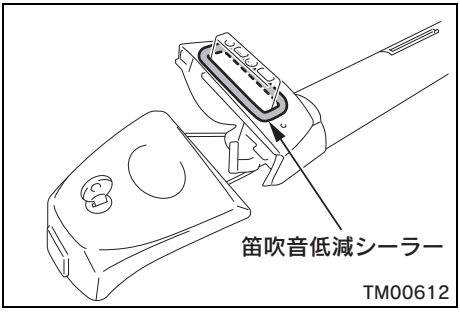
（4） 上部カバーフロント用および上部カバーリヤ用をクロスバー（フロント用）およびクロスバー（リヤ用）にそれぞれ取り付けます。

アドバイス

上部カバーは浮きがないよう、確実に取り付けてください。



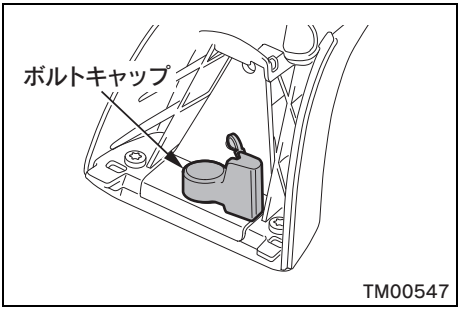
（5） クロスバー（フロント用）裏側の左図の位置に風切音低減プレートを取り付けます。



（6） クロスバー（フロント用）の裏側に笛吹音低減シーラーを貼り付けます。

アドバイス

左図は右側を示していますが、左側も同様に作業をしてください。



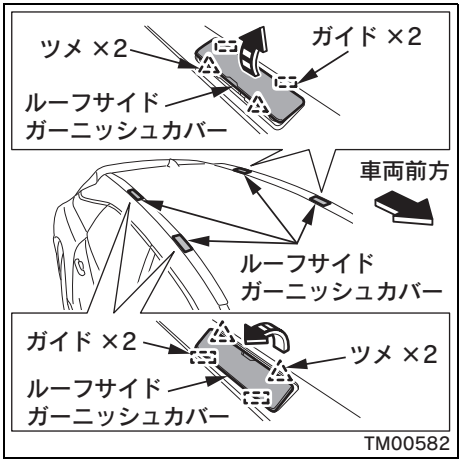
（7） カバーを閉じます。

⚠注意

ボルトキャップを挟み込まないように注意してください。

（8） キーを回し、カバーをロックします。

取り付け要領

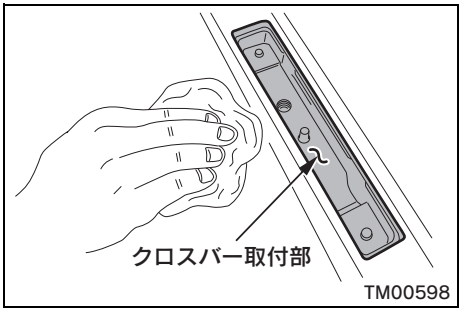


1．クロスバーの取り付け

（1） ルーフサイドガーニッシュカバー 4 箇所（ツメ各 2 箇所、ガイド各 2 箇所）を取りはずします。

⚠注意

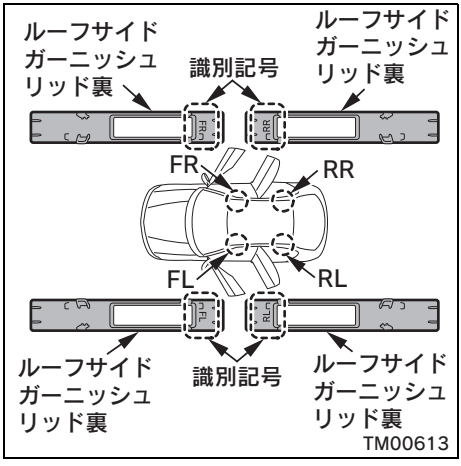
車両の傷付き防止のため、ドライバー先端にマスキングテープを巻き付けて作業をしてください。



（2） クロスバー取付部をきれいな布で清掃します。

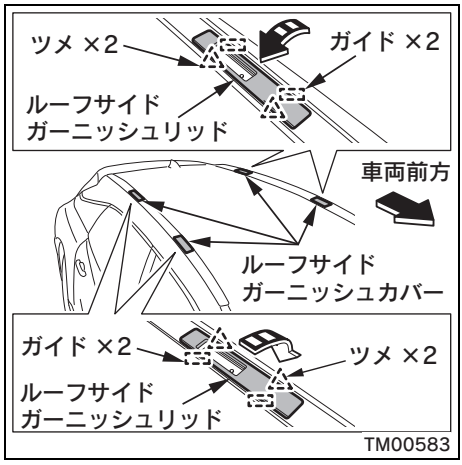
アドバイス

汚れおよびゴミが付着していないことを確認してください。



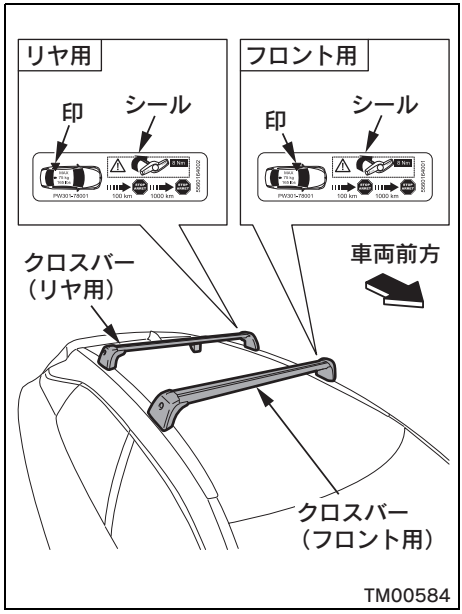
（3） ルーフサイドガーニッシュリッド裏の識別記号を確認し、各ルーフサイドガーニッシュリッドの取付位置を確認します。

FR：フロントの右側
FL：フロントの左側
RR：リヤの右側
RL：リヤの左側

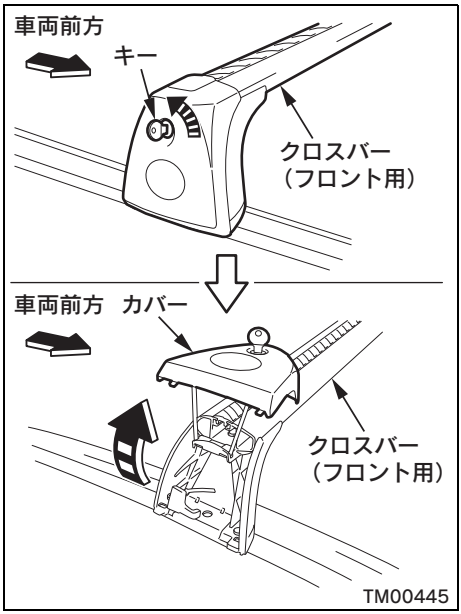


（4） ルーフサイドガーニッシュリッドを取り付けます。
1）ガイド（2 箇所）をかん合します
2）ツメ（2 箇所）をかん合します。

アドバイス
識別記号を確認して取り付けてください。

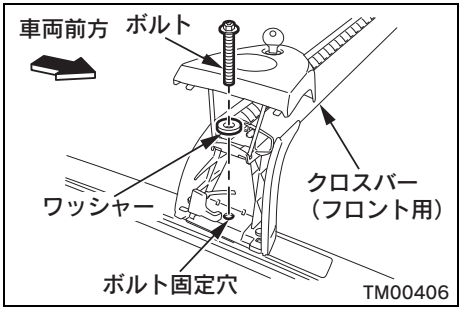


（5） クロスバー裏側シールの印を確認し、クロスバー（フロント用）およびクロスバー（リヤ用）をそれぞれ取り付けます。

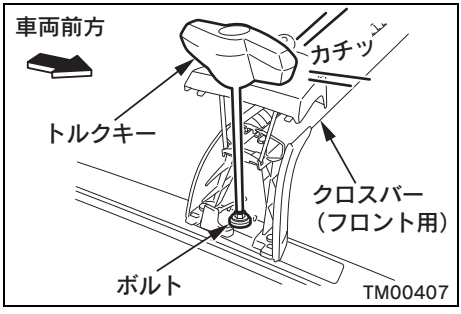


（6） キーを回してロックを解除し、カバーを開きます。

アドバイス
以降の作業はフロント用右側を示しますが、残り 3 箇所も同様に作業をしてください。

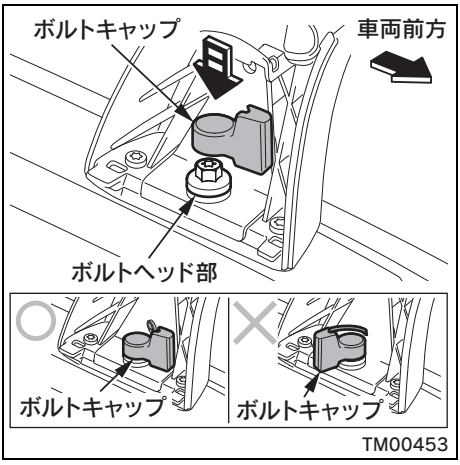


（7） ボルトおよびワッシャーをクロスバー（フロント用）のボルト固定穴に取り付けます。



（8） 付属のトルクキーを使用して、ボルトを 8 Nm で締め付けます。

⚠注意
・左右均等に締め付けてください。
・トルクキーは「カチッ」と音が鳴るまで締め付けてください。
・初回100 km走行後にボルトの増し締めをしてください。
その後、1000 km 毎にボルトの増し締めをしてください。



（9） ボルトヘッド部にボルトキャップを取り付けます。

⚠注意

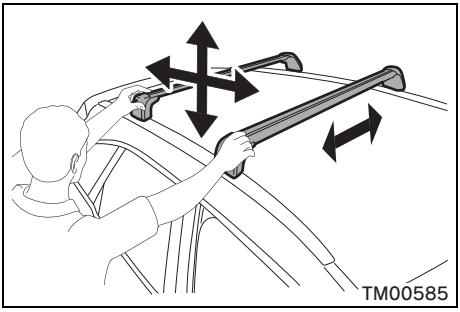
ボルトキャップの向きに注意して取り付けてください。

（10）カバーを閉じます。

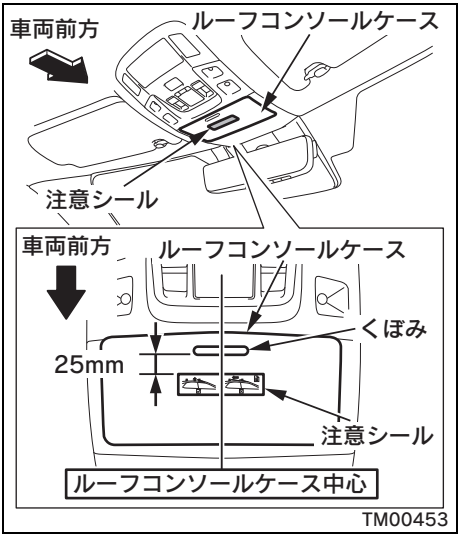
⚠注意

ボルトキャップを挟み込まないように注意してください。

（11）キーを回し、カバーをロックします。



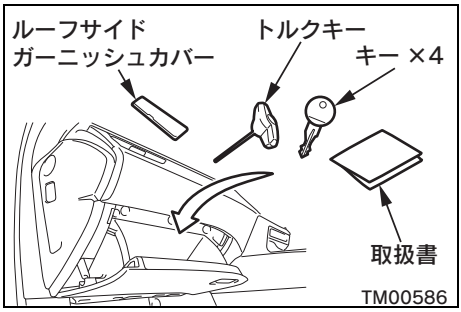
（12）クロスバーを前後左右および上下に揺すって、緩みやガタがないことを確認します。



（13）ルーフコンソールケースの左図の位置に注意シールを貼り付けます。

アドバイス

左図のように、ルーフコンソールケースのくぼみから離して注意シールを貼り付けてください。



⚠注意
ルーフサイドガーニッシュカバー、トルクキー、キー（4 個）および取扱書は紛失しないよう、グローブボックスに大切に保管してください。

取りはずし要領

（1） 積載物をクロスバーから取りはずします。
（2） キーでロックを解除し、カバーを開けます。
（3） ボルトキャップをはずします。
（4） トルクキーを使用してボルトを均等に緩めます。
（5） クロスバーおよびルーフサイドガーニッシュリッドを取りはずします。
（6） ルーフサイドガーニッシュカバーを取り付けます。

日常のお手入れ/保管方法

⚠注意
・本品が汚れた場合は、水洗いをしてください。洗剤・ワックスを使用した場合は、本品の素材を劣化させるおそれがあります。
・本品に潤滑スプレー、油、グリス、シンナー、洗剤を使用しないでください。種類によっては本品の素材を劣化させ、割れ等が発生するおそれがあります。また本品が脱落し、後続車や人を重大事故に巻き込むおそれがあります。
・本品を長時間使用しない場合は、直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。

使用上の注意事項

⚠注意

1．〈パノラマルーフ（チルト＆アウタースライド式）車のお客様へ〉
パノラマルーフのチルト操作は可能ですが、スライド操作はしないでください。パノラマルーフのガラスと後側のクロスバーが干渉し、破損するおそれがあります。
2．本品の本体重量は 7 kg です。
3．本品の許容積載荷重は本体重量を合わせて 70 kg です。過積載をしますと本品の脱落、破損だけでなく車両の変形、積載物の落下等の原因となりますので過積載は絶対にしないでください。
4．積載物が一箇所に集中する積載は避けてください。本品や積載物を破損するおそれがあります。
5．走行中には各部品の脱落、振動による変形等を避けるため、必ず本書をご確認の上、各部品の緩み、ガタがないことを確認してください。
また、走行中も定期的に各部品の緩み、ガタがないことを確認し、緩みがある場合は取扱書に従ってボルトの増し締めをしてください。
なお、ボルトの増し締めは、初回を 100 km 走行後、それ以降は 1000 km 毎にしてください。
6．本品装着後、および荷物積載時にトンネルおよび立体駐車場等の高さ制限のある場所、また看板等上部に建造物がある場所を走行する場合、車両・積載物全高を考慮して、車両全高が高さ制限内であることを確認してください。
7．長尺物の積載時、バックドア・リヤスポイラー等に接触する場合がありますので十分にご注意ください。
8．荷物積載時に、積載物と車両アンテナ等が干渉する場合がありますので十分にご注意ください。
アンテナに干渉しないよう調整してご使用ください。
9．本品を取り付けたままの自動洗車機のご使用は、本品・車両・自動洗車機の破損、故障等の原因となりますので使用しないでください。
10．クロスバー装着時の運転は、本品・積載物の落下や事故等につながるおそれがありますので、法定速度を守り急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の運転は極力お控えください。また、道路状況（悪路、山道等）、天候（雨、雪、風等）を常にご考慮いただき、スピードを控えめにして安全運転を心掛けてください。

監　　修　トヨタ自動車株式会社
発行年月　2022 年 10 月
0830A-48001
（DA00160）